

2019 JUNE チャレンジカップ争奪U11少年サッカー大会 要項

1. 主 旨 少年サッカーレベル向上とスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健全な少年を育成する。
2. 主 催 苫小牧地区サッカー協会
3. 主 管 苫小牧地区サッカー協会第4種委員会
4. 協 賛 北海土建工業株式会社、株式会社小金澤組、有限会社シルバーメタル商会
5. 期 日 6月22日(土)、23日(日)
6. 会 場 緑ヶ丘公園サッカー場

7. 参加資格

- ①「参加チーム」は今年度に(公財)日本サッカー協会第4種または女子(小学生)に加盟したチームでU-11で構成されたチームであること(ただしU-6の参加は認めない)。
- ②「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手であること。尚、女子登録の選手が移籍手続きを行うことなく、4種チームから参加する事を認める。
- ③「参加選手」は、(公財)北海道サッカー協会の発行した「加盟チーム」の選手証を持参すること。
- ④引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。
- ⑤「参加チーム」は必ず「傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険)」に加入していること。
- ⑥参加選手は健康であり、且つ大会参加に関する親権者の同意を得た者でなければならない。

8. 競技規則

- ①(公財)日本サッカー協会「8人制サッカールールと審判法」の「8人制サッカールール」による。
- ②本大会において、退場させられた者は、次の1試合に出場できずそれ以降の処置については、本大会の規律・フェアプレー委員会で決定する。
- ③本大会期間中、警告を2回受けた者は、次の1試合に出場できない。

9. 競技方法

- (1) 競技方法は次のとおりとする。
 - ①出場チームを6ブロック(1ブロック3、4チーム)に分け、予選リーグを行う。
 - ②予選リーグ各ブロック上位1チームと各ブロック2位のチームのうち成績上位2チーム、計8チームが決勝トーナメントへ進出する。
 - ③予選リーグにおける順位決定方法は、勝利3点、引分1点、敗戦0点の勝点により、勝点の多い順に決定する。なお、勝点の合計が同一の場合は、以下の項目に従い順位を決定する。
 - 【1】全試合の得失点差(総得点-総失点)
 - 【2】全試合の得点
 - 【3】当該チーム同士の対戦成績(勝敗)
 - 【4】【1】~【3】の全項目において同一の場合は、PK方式(3人)にて勝者を決定する。
 - ④ワイルドカードの進出チーム決定方法は、以下の項目に従い順位を決定する。
 - 【1】全試合の勝点
 - 【2】全試合の得失点差(総得点-総失点)
 - 【3】全試合の総得点
 - 【4】【1】~【3】の全項目において同一の場合は、PK方式(3人)にて勝者を決定する。
- (2) フィールドの大きさは下表のとおりとし、ゴールは少年用(5m×2.15m)とする。
- (3) 試合球は公認球(少年用4号球)を使用する。
- (4) 競技者の数および交代
 - ・1チーム8人の競技者によって行われる。チーム競技者のうち1人はゴールキーパーとする。
 - ・登録できる交代要員および交代の最大人数は8名とし、交代して退いた競技者は交代要員となつて再び出場することができる。交代の回数は制限されない。

- ・ゴールキーパーは、事前に審判に通知した上で、試合の停止中に入れ替わる事ができる。
- (5) 競技者の用具
 - ・競技者の用具については、(公財)日本サッカー協会「サッカー競技規則」およびユニフォーム規定に従うものとする。ただし、ユニフォーム規定第4条の規定にかかわらず、登録していないユニフォームを着用することができる。
- (6) ベンチに入ることができる人数は、交代要員8名、引率指導者4名とする。
- (7) 試合時間
 - ・試合時間は30分、ハーフタイムのインターバルは全て5分とする
 - ・規定の時間内に勝敗が決しない場合は、いわゆるPK方式(3人)で次回戦へ進出するチームを決定する。ただし、決勝においては、前、後半5分ずつの延長(ハーフタイムのインターバルはなし)を行い、なお勝敗が決しない場合にはPK方式(3人)にて勝者を決定する。
- (8) 警告・退場
 - ・競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。
 - ・本大会において退場させられた競技者は次の1試合に出場できず、以降の処置については規律・フェアプレー委員会で決定する。
 - ・大会期間中の異なる試合において警告を2回受けた競技者は次の1試合に出場できない。
 - ・本大会の規律・フェアプレー委員会の委員長は、苫小牧地区サッカー協会第4種委員長が務める。委員については、委員長が決定する。

10. 参加料 1チーム2000円とする。

11. 組合せ フリー抽選により決定する。

12. 帯同審判

参加チームは公認審判員(4級以上)を必ず1名以上帯同させること。ベンチ入り指導者が審判員を兼ねる場合は審判を優先しなければならない。

13. ユニフォーム

- ①ユニフォーム(シャツ・ショーツ・ストッキング)は正の他に、副として正と色の異なるユニフォームを各試合ごとに必ず携行すること(FP・GK用共)
- ②チームのユニフォーム(ゴールキーパーのユニフォーム含む)のうちシャツの色彩は、審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものでなければならない。
- ③シャツの前面・背面にメンバー表に記載された選手固有の番号を付けること。
- ④その他の事項については(公財)日本サッカー協会ユニフォーム規定による。

14. 開会式

行わない。

15. 表彰規定

- ①決勝トーナメントの優勝、準優勝、第3位(2チーム)及び交流戦各優勝チームを表彰し、決勝トーナメント優勝、準優勝、第3位のチームにはメダルを授与する。
- ②優勝チーム及び準優勝チームより各1名を北海土建グループ賞とし優勝チームより最優秀選手、準優勝チームより敢闘賞として表彰する。
- ③参加各チームより1名をKoganezawa Style賞とし優秀選手として表彰する。

16. 閉会式

令和元年6月23日(日) 決勝戦終了後行う。表彰規定に該当しているチーム及び選手・監督は全員参加することを原則とする。

17. その他

- ①選手資格に関し、その他不都合な行為があった場合そのチームの出場を停止する。
- ②試合開始30分前に本部にてメンバー表の提出とユニフォームチェックを行うこと。
- ③選手の保護者・関係者のマナー遵守（路上駐車、喫煙マナー、会場内での全ての言動、保護者・関係者を含めた「チーム内」において排出されるゴミ）については、チーム責任とする。
- ④帯同審判で大会を運営するので、各チームは審判割り当てを遵守すること。
- ⑤荒天・震災・雷等、不測の事態が発生した場合には事業委員会において協議の上、対処する。
中断・中止・延期することがあることを留意のこと。

18. フィールドの大きさ

